しましま通信

2021年
1月号
Winter

懐かしい未来があるイチチヌ島々

12月11日(金)に宮城島コミュニティ防災センターで開催された「空き家活用に向けたプレゼン」の様子。IDA専門学校の学生たちが宮城島の古民家の活用策を発表しました。

発行:(一社)プロモーションうるま

お試し移住

お試し移住は、島にある空き家を活用して移住希望者の方が1週間程度滞在し、島での暮らしを体感してもらう取り組みです。今年は、平安座島のお家を使わせていただき、2021年2月中旬まで開催します。那覇から参加される子育て中のご家族など5組ほどが参加され、集落や子ども園の見学などさせていただく予定です。ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

ワーケーションモニターツアー開催中

ワーケーションとはワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた言葉で、新しい観光や働き方として注目されています。うるま市でも、11月末にワーケーションモニターツアーが開催されました。県外から訪れた参加者はホテル等に滞在し、リモートワークで働きながら、空いた時間に島のビーチを楽しんだり、地域事業者のお話を伺うなど約1週間過ごしました。参加者アンケートでは「地域や事業者のお手伝いをしたい」という方もおり、市の課題である通過型観光の解消策や、地域との交流や共創の可能性も期待できそうです。このモニターツアーは、3月までに３回開催予定です。(主催:うるま市産業政策課)

上記に関わるコロナ対策

- 消毒やマスク、ソーシャルディスタンスの徹底
- 開催中の検温や健康観察の実施など

お問合せ
連絡先

PROMOTION URUMA
一般社団法人プロモーションうるま

TEL/098-923-5995
(担当:菊地、田中、西貝)

令和2年度うるま市しま・ひと・しごと・未来づくり事業

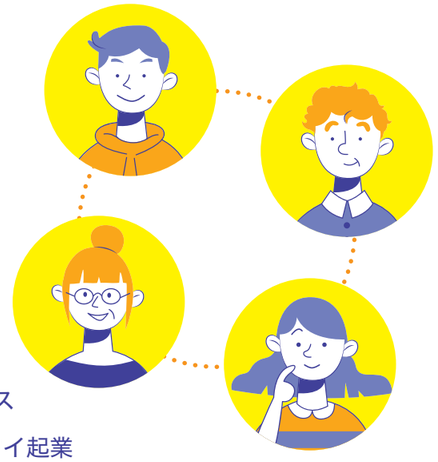
うるま ワタクシプロジェクト

※「ワタクシ」は自分自身の起業プロジェクト、そしてウチナーグチで「へそくり」という2つの意味が込められています。

「うるまワタクシプロジェクトは」、島しょ地域で新しいナリワイづくりに挑戦したい人をとことん応援して、大なり小なりお金を生み出す一歩を踏み出すまでを一緒に創り上げる、伴走型支援の起業（しごとづくり）スクールです。第1期は島に住む9組の方が参加しています。

第1回　参加者同士が思いでつながる

11月15日に第1回プロジェクトを開催。山形県鶴岡市で月3万円ビジネスを展開する「鶴岡ナリワイプロジェクト」の井東敬子さんをオンラインゲストにお招きし、自分の思いを丁寧に掘り起して仕事づくりにつなげる重要性や、一人ひとりが挑戦するために仲間とチーム化する大事さについてお話いただきました。



ナリワイ起業 ＝ 暮らしから生み出す 小さなソーシャルビジネス

好きな事 × 自分や友達の ささいな困りごと ＝ ナリワイ起業（利益：月3万円）

ナリワイを始める考え方

- **好き**から スタート
- **小さく** スタート
- **60点で** スタート

ナリワイ起業の効果

欲しい未来は、自分でつくる。仲間とつくる。

- 自分から動く人が増える
- 動く人同士がつながる
- 地域に笑顔と小銭がめぐる

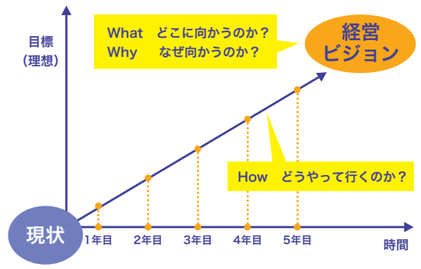
第2回　あなたインタビュー

自分の「好きな事」はわかりやすいですが、なぜ好きなんだろう？という「思いの源泉」は自分ではわかりにくいもの。この「あなたインタビュー」では、聞き取り役の「コトバグラフィッカー」のちょこさんが参加者1人ずつと面談しながら、思いの源泉や大切にしている価値観などを聞き取り、絵として可視化していきました。

第3回　事業構想＆事業計画

12月13日は事業の根っこと幹を整理する時間でした。様々な企業や個人事業主の事業構想や戦略づくりを支援する但馬武さん（fascinate株式会社）と、沖縄県内で様々な地域の起業支援などに取り組む新田繁睦さん（CSDコンサルタンツ／うるま市出身）をお招きしました。但馬さんは、楽しさは人を巻き込むことができるという気づきから、自分がワクワクする生き方を仕事づくりに結び付ける事業構想について深める時間となりました。
新田さんからは、新型コロナなど不確実な社会を生き延びるための起業について、一人一人が目指すべきゴールから逆算してどのように事業を営むのか計画を考える時間でした。

- どんなことにワクワクしますか？
- 時間を忘れて熱中することは？
- どんなことがイヤですか？
- 疲れている時でもやってしまう取り組みは？



これからの進み方

参加者それぞれの目標が具体化してきた中、12月下旬からは本格的に専門家の伴走支援が始まります。伴走支援は、一人一人が目指すゴールに向けて必要なステップを整理し、参加者がそのステップを確実に登れるように専門的知見からサポートしてくれます。今回は「商品開発」「デザイナー」「ブランディング」「事業構想」「クラウドファンディング」など、多彩な専門家が参加者の方々をサポートしてくれます。伴走の状況は、次の号のしましま通信でお知らせします。